



2019年10月15日
株式会社オンワードホールディングス
恩瓦德时尚贸易(中国)有限公司

中国事業強化のための現地企業との提携について

株式会社オンワードホールディングス(本社:東京都中央区 代表取締役社長:保元 道宣)は、グループ会社である恩瓦德时尚贸易(中国)有限公司(本社:中国・上海 董事長総経理:坂本 智彦)を通じて、EEKA Fashion Holdings Limited(本社:中国・深圳 董事長:陈 和军、以下「EEKA Fashion」)が出資する中国現地企業の上海赢裳恩服飾有限公司(本社:中国・上海 董事長:陈 和军、以下「上海赢裳恩服飾」)と、中国における販売事業運営に関して業務提携することに合意しましたのでお知らせいたします。

EEKA Fashion は、香港証券取引所に上場する企業で、独自のブランド文化理念のもと、傘下に優れた研究開発設計センター、近代的な生産基地、優れたマーケティングサービスシステム、高効率な物流配送とネット管理システムを有し、中国全土におよそ 1,300 店舗の販売ネットワークを持つ有数のファッション服飾グループです。

当社グループは、消費市場の成長が続く中国を海外事業における重要なマーケットと位置付けており、この度、中国事業の強化・拡大を目的とした発展的な業務提携を、上海赢裳恩服飾と 2020 年 1 月よりスタートさせます。

本提携により、中国全土(香港・マカオ特別行政区を除く)においてグループ自社で行っている『23 区』『ICB』ブランドの販売事業を上海赢裳恩服飾へ委託します。現地企業が有するノウハウにより運営する強みを活かし販路を広げ、現在両ブランドで約 80 ある店舗を今後 5 年間で倍増させる計画です。E コマースに関しても、現地 EC モールへの展開を強化し売上の拡大を図っていきます。また、マーチャндаイジングにおいても日本企画商品のほかに、上海赢裳恩服飾が中国におけるトレンド・ニーズを反映させた現地企画による共同別注商品も展開するなど、現地企業の運営力・情報ネットワークと、アパレルメーカーとして長年培ってきたモノづくり力を掛け合わせ、ブランド事業を推進していきます。

中国マーケットに精通し、よりオペレーション力の優る現地企業とのアライアンスにより、中国市場におけるブランド知名度のさらなる向上と売上の極大化を目指してまいります。